



平成30年度 ふじさと 最終号

～恩送り～ 校長 道本 美月

啓蟄も過ぎ、暖かな春の日差しを感じるころとなりました。それでも、時々、春の嵐がやってきたり、三寒四温の繰り返しだったり和本物の春が来るまでは、なかなかすっきりとはしない季節です。

同時に、心の中も、次の年への期待と不安が繰り返し波のようにやってきて、来るべき「別れ」と「出会い」を思えば心がいつもより乱れます。

宮北の学び舎を巣立っていく6年生、来年は学校のリーダーとなる5年生、それぞれの学年なりに子供たちも嬉しさあり、寂しさや不安ありの3学期だと思えます。

そんな中、行われた6年生とのお別れ集会は、6年生を思う温かい雰囲気にも包まれた本当に良い会になりました。6年生にしてもらったこと、教えてもらったことをつないでいこうとする2年生から5年生の気持ちが伝わってきました。

「これが宮北の良さなのだなあ」と心から思える時間を過ごすことが出来て幸せでした。

「恩送り」とは、『誰かから受けた恩を、直接その人に返すのではなく、別の人に送ること』という意味があるそうです。子供たちの心の中には、すでに「恩送り」の気持ちが芽生え育っているように思えます。自分たちが受けたやさしさを次の学年へバトンを渡すようにつないでいくことは嬉しいことです。

さて、私事ですが、先月、中学校で担任をしていたある生徒が宮北小学校を訪ねて来てくれました。結婚を控えた友達のために、ビデオレターを作るので私にもメッセージをお願いしたいとのことでした。

中学校3年生で担任をした彼女も、早30歳になり、1児の母になっていました。美しく成長して、母親としてもまばゆいばかりに輝く彼女は、教科こそ違いますが中学校の先生になっていました。

振り返ると、彼女には十分なことをしてあげられなかったこともあり、「あなたには謝らなければならないことがいっぱいあるね。ごめんなさい。」と言うと、今度は彼女から「あの頃は未熟でした。ご迷惑をかけました。ごめんなさい」と。そして長い時間、思い出話に花を咲かせました。

私自身も自分がもらった多くの優しさを、今、目の前にいる子供たちへ「恩送り」をしているのだと思います。ふいに春の風のように私の目の前に現れた彼女もまた「恩送り」をしてくれているのでしょうね。

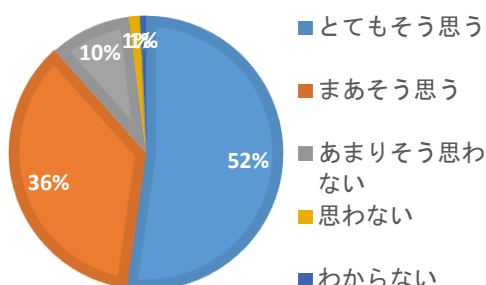
心が温かくなりました。春を思わせる温かさでした。



★アンケートにご協力頂きましてありがとうございました。結果を真摯に受け止めて更なる改善をしていきたいと思います。一部結果を載せたいと思います。3月末にはHPに掲載します。

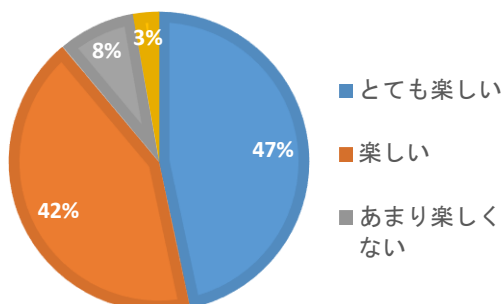
保護者

子どもは毎日楽しそうに学校に通っている



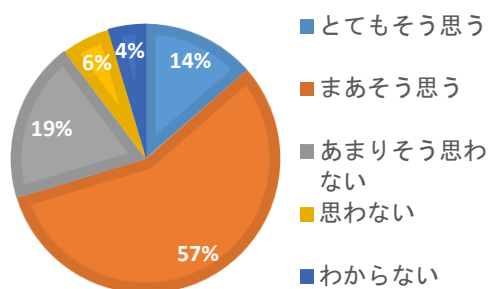
子ども

わたしは学校が楽しい



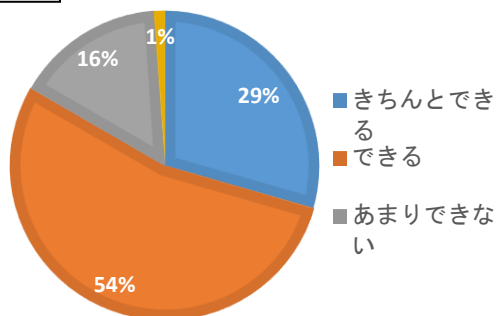
保護者

子どもは誰にでもあいさつができています



子ども

わたしはだれにでもあいさつできる



4月の主な行事(* 予定は変更されることもありますので、ご了承ください)

- ・8日(月)始業式・9日(火)入学式・10日(水)給食開始(2～6年)・17日(木)1年給食開始
- ・18日(木)全国学習状況調査(6年生)・19日(金)交通安全教室(1・2年)
- ・22日(月)授業参観・育誠会総会 ・23日(火)～26日(金) 家庭訪問

Keep in Touch これからもどうぞよろしく！

この1年間、各ご家庭で子供たちを愛しんで頂き、支えて頂いたことに感謝申し上げます。また、学校に対しても数々のお力添えを賜りましたことを、職員一同と共にお礼申し上げます。

「ふじと」は発行と同時に宮北小学校HPにも掲載しています。

6年生の保護者のみなさんもお子様の卒業後も時々、HPを開いてみてください。また、色々ご意見を頂いたり、励まして頂いたりしていただければ嬉しいです。そして校長室はオープンな空間ですので、たまにはお立ち寄りください。お待ちしております

